

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50									
授業科目名 <英訳>		ILASセミナー：こころの科学セミナー“実験心理学 × 脳神経科学 × データサイエンス” ILAS Seminar :Kokoro Seminar "Experimental Psychology, Neuroimaging, and Data Science"				担当者所属 職名・氏名		人と社会の未来研究院 特定講師 上田 祥行 人と社会の未来研究院 特定准教授 中井 隆介 人と社会の未来研究院 助教 上田 竜平			
群	少人数群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	ゼミナール（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	12 (12) 人		配当学年	主として1回生		対象学生	全学向		
曜時限	木5	教室	稲盛財団記念館1Fセミナー室（ 医・薬・病院構内）				使用言語	日本語			
キーワード	心理科学 / 認知科学 / 心理実験 / 統計学 / 脳機能計測										
[授業の概要・目的]											
実験的手法によってこころを理解するという実験心理学の手法は、現代心理学では非常に重要なものとなっている。また近年、ハードウェアやソフトウェアの進歩によって、その計測法や解析法は大きな進歩を遂げている。さらに心理学は、神経科学、精神科学や統計学、深層学習等、他の研究分野と密接な関係を持つようになっている。本セミナーでは、実際の研究でも使用される行動実験や脳機能計測の研究デザインを用いて、実験デザインの組み立て方や実施、結果の解釈までの一連の流れを体験する。その中で、こころの科学の研究における基本的考え方と基礎理論を学び、心理学と神経科学、データサイエンスがもたらす波及効果についてディスカッションすることで、最終的にこころを考えるための手法の理解を目指す。											
[到達目標]											
一連の心理学実験を体験することにより、こころの科学の研究における基本的考え方や実験デザインの組み立て方、実験の実施、結果の解釈とまとめ方等を体験的に学ぶ。行動と脳とこころのつながりについて考えるための基本的知識を習得する。											
[授業計画と内容]											
本セミナーは、こころの科学のための実験デザインの構築から、実験データの取得、実験データの解析から考察まで実施する一連の研究体験型のセミナーである。セミナーは以下の内容で実施する。各項目について、受講者の理解の程度を確認しながら進める。講義と実習を中心に実施する。											
○第1回：オリエンテーション (必要な場合は履修制限)：全員 ・本セミナーの概要の説明と、授業の進め方、予定等の周知。											
○第2回～第5回：反応時間からこころのメカニズムを検討する											
□第2回～第3回： ・反応時間を用いた心理実験の基礎および心理実験デザインの構築法を学ぶ。 ・実験デザインに基づいて、実際に行動実験を実施し、データを取得する。											
□第4回～第5回： ・反応時間データの解析法を学ぶ。 ・実際に収集した反応時間データの解析を実施する。											
○第6回～第9回：選択課題からこころのメカニズムを検討する											
□第6回～第7回： ・選択課題を用いた心理実験の基礎と心理実験デザインの構築法を学ぶ。 ・実験デザインに基づいて、実際に行動実験を実施し、データを取得する。											
ILASセミナー：こころの科学セミナー“実験心理学 × 脳神経科学 × データサイエンス”へようこそ！											

- 第8回～第9回：
- ・選択データの解析法を学ぶ。
 - ・実際に収集した選択データの解析を実施する。
- 第10回～第13回：脳機能計測実験からこころメカニズムを検討する
- ・機能的磁気共鳴画像法(functional MRI)の原理と実験法について学ぶ。
 - ・functional MRIのデータ処理等を体験する。
- 第14回：レポート（ポスター）作成：全員
- ・一連の講義と実習を元に、レポート（ポスター形式）を作成する。
- 第15回：フィードバック：全員

解析の実習ではパソコンを使用するので、ノートPCを持っている人は可能であれば持参してください。（こちらでもある程度数を用意はしております。）
 予定は状況により変わる可能性もあります。

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

平常点(出席と参加の状況)：50%、レポート：50%で評価する。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）
 授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

授業で取り上げる内容や単語に関して事前に調べる、また習ったことは資料を元に復習する。

【その他（オフィスアワー等）】

教員への連絡はメールで随時行う。研究室に直接訪問可。授業時間以外に学内実験施設の見学等を行う場合がある。